

「次世代学園都市ゾーンのまちづくり」について

「次世代学園都市ゾーンのまちづくり」は、「東広島市次世代学園都市構想」(P2参照)を実現するため、重点的に取り組む対象エリアを「次世代学園都市ゾーン(※2)」として位置づけ、まちづくりのイメージを共有するものです。「東広島市次世代学園都市構想」では「SDGs」「Well-being」「ポジティブピース」の実現を目指し、カーボンニュートラルやイノベーションの推進、国際的なコミュニティの形成を進め、持続可能で先進性かつ多様性のあるまちづくりを推進します。

SDGs

持続可能な社会の実現を目指すために、2030年までに良い世界を目指す国際目標。

Well-being

心身ともに健康で、持続的に幸福な状態のこと。一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せを指す。

ポジティブピース

平和な社会をつくり、維持するために必要な態度、制度、仕組みのこと。

「次世代学園都市ゾーンのまちづくり」では、目標人口を基に次世代学園都市ゾーンの将来像や取り組みの方向性を定め、取り組みの効果を高めるために必要となる道路網等交通ネットワークを示します。

将来像の年次

東広島市は2024年に市制施行50周年を迎え、それから概ね四半世紀後の2050年の将来像を想定するものです。

対象エリア

東広島市総合計画後期基本計画で「次世代学園都市ゾーン(※2)」として位置付けたエリアを対象としています。

※2 次世代学園都市ゾーン

本市と広島大学の連携による地域課題の解決に資する科学技術イノベーションの社会実装と人材育成の先行的実践の場となる「広島大学周辺地区」、半導体を中心とした先端産業が集積する「吉川地区」の2つの特定機能拠点を核とした地域。



- ①道路・鉄道
IC
広域交通幹線(道路・鉄道)
その他の主な道路

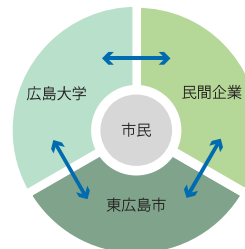
- ②拠点地区
都市拠点: 高度な都市機能が集積し、全市的な都市活動を支える拠点
特定機能拠点: 専門の機能が集積し、それぞれが有する機能の振興を支える拠点
地域拠点: 日常生活に必要な都市機能が集積し、地域のにぎわいと交流を支える拠点
次世代学園都市ゾーン

「次世代学園都市ゾーンのまちづくり」の方向性

■ 体制

Town & Gown

地域と大学のリソースを活用し、企業を巻き込みながら、地域と一体となって、新たなイノベーションの創出や国内外から起業家などをひきつけるまちづくりに取り組みます。



(産官学民の連携のイメージ図)

広島大学スマートシティ共創コンソーシアム

次世代学園都市構想実現の推進母体として、東広島市・広島大学・民間企業により設立。主に広島大学周辺地区の新たなまちづくりに取り組みます。

■ 取り組みの柱

仕組みづくり

イノベーションが起きる仕組みづくり
～快適性や利便性を含めた新たな価値の創出～

- ・イノベーションエコシステム(※3)の形成による新技術の社会実装と経済の好循環の実現
- ・データ活用により効率的な運営を実現するまち
- ・最新技術の取り込み

※3 イノベーションエコシステム:
行政、大学、研究機関、企業、金融機関などの様々なプレーヤーが相互に関与し、絶え間なくイノベーションが創出される、生態系システムのような環境・状態のこと。

環境づくり

グローバルスタンダードな生活環境づくり
～国際色豊かな魅力ある都市拠点の形成～

- ・カーボンニュートラルが実現したまち
- ・自然豊かな環境を活かしたゆとりのある居住空間
- ・仕事と生活のシームレスな環境を実現した先端技術のまち
- ・学生や外国人が定着し、活躍するまち
- ・インターナショナルスクールの誘致

先端産業の集積と産業基盤づくり
～半導体産業などを中心とした新たなビジネスの創出～

- ・新たなビジネス創出の基盤となる産業用地の整備
- ・市内企業と広島大学の連携強化による産業イノベーションの創出

人づくり

人づくり(学びと実践)
～地域全体のグローバルな頭脳循環への参加～

- ・地域の視点も持つ「グローバル(※4)」な人材育成
- ・世界的課題と持続可能な未来が考えられる人材の育成
- ・質の高い多様な教育を受けられるまち
- ※4 グローバル: グローバル(世界規模の)とローカル(地域的な)を掛け合わせた造語で、国際的かつ地域視点を持つ考え方。

次世代学園都市ゾーン(広島大学周辺地区・吉川地区)の新たなまちづくり

イノベーションを創造し、世界から起業家や研究者が集まる持続可能で成長するまち

■ まちづくりの成長ステップ

